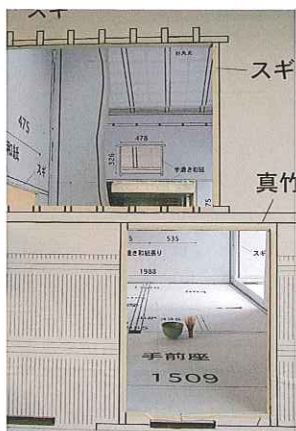


特集 BIMは住宅設計の何を変えるのか

- 平塚桂「2010年、「BIM的状况」の理由と問題点」
- 藤村龍至「記録と設計のポジティブな関係」
- 豊田啓介「いわゆるBIMに対するGrasshopper的プログラムの方向性」
- 田内隆司「住宅の維持管理は建築士としての社会的責任」
- 積水ハウス「自社製CADの歴史を生かし、BIM研究に取り組む」
- グラフィソフト・ジャパン「模型をつくるように、3次元モデルをつくる」
- 柳沢究「住宅における建築データベースの可能性」
- 満田衛資「構造設計者から見たBIM的设计の課題と展望」
- 家成俊勝「設計ツールという道具——インクルーシブデザインとBIM」

「BIMは造形、技術、資本、運用といったさまざまな側面を否応なくビジュアライズしてしまう。発注者の依頼を受け、建築設計を統括する主体がいて、その下に施工者や技術者が置かれる、という古典的な構図は崩れていく」(平塚桂・建築ライター)。「BIM的ソフトというのは決して魔法の杖ではなく、パワフルではあるが一つの選択肢であり特徴ある手段にすぎないという点が、BIMを不要に恐れない、もしくは過大評価しないための重要なポイントであるように思う」(豊田啓介・建築家)。



Letters |

実寸おこし絵で、見学不可の「茶室」を再現

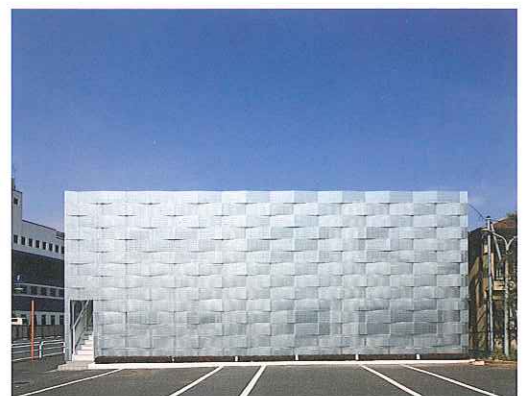
— 森 傑

クロースライン
山本理顕氏と小田原市長の
公開対話は平行線
—— 論評 ——
山本家が市民に否定される理由
—— 松森隆一 ——
建築基本法制定の道
—— 議員立法にこだわらず、
制定に向けたタイムテーブル急げ
—— 岩橋健定 ——

オープンハウス⑥ |

江戸川 ガレージクラブ

—— 伊藤潤一 ——



各地域に拠点を置く設計事務所
の作品集
建築集